天然恋

あの頃の僕らは
いつもいつでも笑ってた
涙がこぼれないように

「ジョゼと虎と魚たち」「タッチ」
犬童一心監督作品

二宮和也
相葉雅紀
大野智
櫻井翔
松本潤

香椎由宇
韓英恵
高橋真唯
香井きん
志賀廣太郎
本田博太郎

田畑智子
松原智恵子

原作：永島慎二
黄色い涙シリーズ『花者たち』より
脚本：市川森一
音楽：SAKEROCK
制作プロダクション：タイガーチャイルド・ピクチャーズ（TMPC）
製作・配給：ジェイ・ストーム

©2007 J Storm Inc.

www.mirai-namida.com

若者たちは出会った。大きな夢を語り合うために。

『ジョゼと虎と魚たち』『メゾン・ド・ヒミコ』『タッチ』など話題作を次々と手掛ける映画監督・犬童一心が少年時代から胸に温めていた夢物語が、現実のものに。漫画家・永島慎二の同名作をもとに、脚本に市川森一、主演に嵐を迎えた最新作『黄色い涙』があなたに問いかける。夢はまだ生きていますか?

原作コミック
「黄色い涙」
永島慎二・著
(マガジンハウス刊)

1963年、晩春。日本は東京オリンピックを翌年に控え、高度経済成長期の真っただ中にあった。舞台は東京の阿佐ケ谷。将来への大望を抱き、いつか叶うと信じてやまない4人の芸術家の卵とひとりの勤労青年がひょんなことから出会いを果たす。漫画家の村岡栄八、歌手の井上章一、画家の下川圭、小説家の向井竜三、ただひとり健気に働く勝間田祐二。一度は散り散りになるがしかし、それが必然であるかのように4人の若き芸術家たちは再会し、栄介の住む六畳一間のアパートでその日暮らしの共同生活を始める。そんな4人の生活に気を揉みながらも、優しい眼差しで見守る祐二。金がなくなれば、人頼み。何かにつけて酒を呑んでは、夢を語り合う。それぞれが淡い恋心も抱えていた。そんな、貧しいながらも笑い声の絶えない宴のようなひと夏の日々が過ぎていくのだが…。

あの夏、六畳一間のアパートで僕らはたくさん笑い、そして静かに泣いたんだ

1974年11月。NHK銀河テレビ小説でドラマ版の「黄色い涙」が放送された。このドラマを観た当時14歳の映画少年だった犬童一心は、劇中の若者たちと同じような"何か"に強く衝き動かされた。あれから32年。いつかの映画少年は、日本を代表する映画監督となった。そして、ずっとその胸に秘めていた「黄色い涙」の映画化のために動き出した。高度経済成長期にあった1960年代の日本。それは誰もが今日よりも明日、明日より明後日に豊かな未来が広がると確信していた時代だった。そんな時代においても、アンダーグランドに潜む若き表現者たちは存在していた。そんな彼らこそが、やがてサブカルチャーと呼ばれるムーヴメントを生み、現在第一線で活躍する表現者たちに多大な影響を与え続けている。本作の原作者であるいまは亡き漫画家・永島慎二がそのひとりであることは間違いない。

本作に登場する夢見る4人の若者たちの姿は、永島慎二が実際にその目で見た、あるいは自らが経験した過去そのものである。夢と現実、満面の笑顔と不意にこぼれ落ちる涙、そして必然の出会いとやがて訪れる別れ―。そう、本作に描かれているのは誰もが人生で一度は通り過ぎる青春という季節の普遍性。それ以上でもそれ以下でもない。計画性など微塵もないくせに、人一倍大きな夢を抱えている主人公たち。彼らを見ていると、青春とは夢に生きる時間ではなく、自分自身が夢の中に存在している時間だということに気づかされるのだ。

時代と世代を超えて共鳴し、打ち集った表現者たち。犬童監督の原点から導かれた日本映画のいまが、ここにある。

主演は音楽、映画、舞台、ドラマ、バラエティとボーダーレスに自覚ましい活躍を見せている嵐の5人。2005年の夏、嵐のコンサートを観た犬童監督は「彼らだったらいけるかもしれない」と『黄色い涙』の映画化を決意したという。漫画家の村岡栄介を二宮和也、歌手の井上章一を相葉雅紀、画家の下川圭を大野智、小説家の向井竜三を櫻井翔、勤労青年の勝間田祐二を松本潤が演じる。さらには香椎由宇、田畑智子、韓英恵、高橋真唯といった実力派の若手女優たちが花を添え、松原智恵子、菅井きん、志賀廣太郎、本田博太郎といった百戦錬磨のベテラン勢が脇を固める。そして、脚本を手掛けるのは32年前に放送されたドラマ版と同じく市川森一。「映画のために新たな脚本の執筆を」という監督の強い要望に応えた。劇中音楽はジャズやラテンをベースにした奔放なサウンドスケープが話題を呼んでいるSAKEROCKが務める。時代と世代を超え、ここに盤石のキャストとスタッフが集まった。そして犬童一心は、遺憾なくフィルムに焼きつけた。映画監督としての原点を。若者たちが生きた微笑ましくてもの悲しい、ひと夏の青春の記録を。

犬童一心監督最新作

黄色い涙

二〇〇七/日本/三八分/カラー/ヴィスタ/ドルビーSR/製作:ジェイ・ストーム/制作プロダクション:タイガーキャイルド・ピクチャーズ(TMJE)/配給:ジェイ・ストーム

○原作:永島慎二「黄色い涙」シリーズ「若者たち」より○監督:犬童一心○脚本:市川森一○エグゼクティブプロデューサー:藤島ジュリーK○プロデューサー:三木裕明/原藤一輝/長松谷太郎○共同プロデューサー:田口聖○製作スーパーバイザー:中村浩子○撮影:葛井孝洋○照明:疋田ヨシタケ○録音:志満順一○美術:磯田典宏○装飾:西潟浩祐○スタイリスト:宮本まさ江○VFXスーパーバイザー:古賀信明○編集:上野聡一○スクリプター:天池芳美○音楽プロデューサー:安井輝○キャスティング:杉野剛○助監督:久万真路○製作担当:金子聖太郎○製作:ジェイ・ストーム○制作プロダクション:タイガーチャイルド ピクチャーズ(TMJE)○配給:ジェイ・ストーム

2007年春ロードショー

特別鑑賞券好評発売中!(税込)一般1,500円/ペア2,800円(お二人で劇場窓口のみ) 水曜はサービスデー! 男女とも1,000円均一

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり
恵比寿ガーデンシネマ
03-5420-6161 www.gardencinema.jp 定員制・入替制